



令和7年度 ひたちなか市立美乃浜学園グランドデザイン

めざす学校像

【ひたちなか市 教育目標】
夢・感動・笑顔がひろがる 教育のまち ひたちなか

- ひとりひとりの能力を開発し、豊かな人間性をつちかいます
- じょうぶな身体をつくり、たくましい心を養います
- 家庭や地域と力をあわせ、豊かな心を育みます
- ふるさとを愛し、協力しあう心を育てます
- 世界に視野を広げ、国際人としての自覚を高めます

【子どもを真ん中においた笑顔あふれる学校】
～魅力ある学校づくりの推進～

- ・子ども主体で創意あふれる楽しい学校
- ・子どもが安心・安全に通える学校
- ・家庭・地域との協働により子どもが育つ学校

【校訓】
“つくりだせ 明日の君よ”



学校教育目標

豊かな心で 主体的に学び たくましく しなやかに生き抜く 児童生徒の育成
～一人一人が輝き、夢をはぐくむ教育の推進～

【基本理念】
「すべての子どもをすべての職員で支援する」

【組織目標】
子どもを主語にした創意あふれる 教育活動を推進する

職員も笑顔があふれる学校に～人を大切にする職員室に～

【笑顔があふれる職場】

- ・やりがいのある職場
- ・相談しやすい職場
- ・お互いに尊重し合える職場

○ 校務分掌の見直しや日課表の工夫等により定時退勤を推奨する。
○ 効率化の視点を意識した働き方改革の意識の向上と、学年を単位としたキャップ・カットの視点による業務の改善を実践する。

めざす児童生徒像

【持続可能な社会の形成者】

- ・自ら学び、考え、正しく判断できる児童生徒
- ・自分を信じ、最後まで努力を重ねる児童生徒
- ・互いのよさや個性を認め合える児童生徒
- ・生きる上での基礎基本となる生活習慣が身に付いた児童生徒

○ 主体的な学び

～子どもを主語にした学びへの転換～

- 知的好奇心をくすぐる探究型の授業
 - ・自ら課題を見出し、課題解決に向けて試行錯誤し成果を発信する授業の推進
- アウトプットを重視した授業
 - ・必要に応じて、学んだことを自分の中から引き出し使ってみることによって、学習内容への理解を深める授業の推進
- 自分に合ったスピードで進められる自由進度学習
 - ・AIドリルを活用した個別最適な学びの推進
 - ICT機器を便利な道具の一つとして活用している授業

○ 豊かな心

～自分の生き方を見つめ、 よりよく生きようとする心の育成～

- 「特別の教科 道徳」が心の教育の核に
 - ・生徒の実態に応じた重点価値項目の設定
- QUアンケートの分析結果を活用した学級経営の充実
- 企画・合意形成・意見表明のトレーニングとなる児童生徒の自発的・自治的な活動の充実
 - ・児童生徒が企画・運営する児童生徒会活動、学校行事の推進
- 相談・支援体制を充実させた「心の居場所」づくり

○ たくましくしなやかに生き抜く心と体

～「自分の命」も「友達の命」も 大切にできる心と体の育成～

- 命の大切さを実感できる教育の推進
 - ・心の健康の保持増進とSOSの出し方に関する教育の充実
- 自己管理能力の育成
 - ・危険予測・危険回避能力の向上
- 基礎体力の向上
 - ・体力テストの結果分析を生かした体育の授業の充実
 - ・自分たちで考えて主体的に取り組む部活動の推進
- 一人一人の教育的ニーズに対応した児童生徒支援

第Ⅰ期（第1～第4学年） 学びの基礎力の育成

- ・基礎的・基本的な学習内容を身に付け、進んで学習に取り組むことができる。
- ・家庭学習や読書の習慣を身に付けることができる。
- ・明るく元気なあいさつができる。
- ・きまりや時間を守り、みんなと仲良く生活することができる。
- ・安全に気を付け、楽しく運動できる。
- ・健康について関心を高め、基本的生活習慣を身に付けることができる。

学習基礎定着期

第Ⅱ期（第5～第7学年） 社会的実践力の育成

- ・自分に合った学習の仕方を見つけ、意欲的に学習に取り組むことができる。
- ・自主的に家庭学習や読書に取り組むことができる。
- ・自分から進んであいさつをし、場に応じた言葉遣いができる。
- ・社会のルールやマナーを守り、お互いのよさを認め合う人間関係を築くことができる。
- ・目標に向かって運動することができる。
- ・健康新たな事柄を理解し、実践することができる。

学習充実期

第Ⅲ期（第8～第9学年） 自ら考え主体的に行動する力の育成

- ・将来の夢に向かって主体的・協働的に学習を進めることができる。
- ・目標をもって計画的に家庭学習や読書に取り組むことができる。
- ・社会の一員としての責任と役割を自覚し、良好な人間関係を築くことができる。
- ・主体的に運動に取り組み、楽しさや喜びを味わうことができる。
- ・生涯の健康のために必要な知識を身に付け、主体的に健康な生活を送ることができる。

学習発展・応用期

【学校経営の重点施策】

- 9年間を見通したカリキュラム（指導計画）の編成・実施
- 前期課程（3年生以降）からの段階的な教科担任制の実施
- 異学年編成による体験活動（SDGsとの関連）、学校・学年行事の充実
- アントレプレナーシップの育成と探究型の学習活動の展開
- つながりを大切にし、家庭・地域とともに創る教育活動の展開

